



かけがえのない「いのち」を大切に・自殺予防を願って

2009.11

No. 107

社会福祉法人

北海道いのちの電話

「一人一人のいのちを大切に する人たちの輪を広げて」

「北海道いのちの電話」理事長 南 槇子



2009年6月に、佐藤巖前理事長から「北海道いのちの電話」の理事長のバトンタッチを受けました。開局準備から、社会福祉法人化、24時間相談体制などの現在にいたる礎を築くために、30年の長きにわたり献身的に奉仕された佐藤理事長の跡を継ぐのは、非力な自分にとってひるむものがあり、なかなか勇気を必要とするものでした。しかしお引き受けしたからには、皆様のご支援を受け、力を尽くしたいと決意いたしているところです。

私は「北海道いのちの電話」が開局して2年が経った頃、児童相談所で心理判定員として働いておりましたが、当時上司であった所長が「いのちの電話」の理事であり、その方の勧めで相談員の方々の研修をお手伝いすることになりました。それ以来現在まで、研修委員、委員長として関わり続けてきました。

この30年、相談員の方々が変わってきました。当初は相談員の圧倒的多数は、子育てを終えた専業主婦の方々でした。何かゆったりとした雰囲気の流れていたような気がします。現在の相談員の方々は仕事を持っている方も多く、また仕事は持っていない方も介護する家族を抱える方が多くなりました。皆さん忙しいスケジュールに追われています。相談電話を終え、

ちょっと事務局で一息入れていくような時間的余裕が無くなっている気がします。その結果、深夜帯の電話を取る困難さが年々増えています。深夜、早朝に電話は絶え間なく鳴り続けています。その切実さを感じる一方で、深夜に電話担当をする相談員の方々の疲労感じつつ、ひたすらボランティア精神に訴えて、深夜帯の担い手が増えるよう呼びかけているのが現状です。そして相談員の方々とどうしたら深夜帯を取りやすくできるか検討を重ねています。

この10年以上全国の自殺者は年3万人を超えており、「いのちの電話」には、話し相手もなく、眠れずに悩み続けた人が、ダイヤルしているのです。「死にたい」という電話も増え続けています。その声に共通しているのは、自分の不安を信頼して話せる相手がおらず、理解してくれる相手を求めているということです。「いのちの電話」は一人一人の悩み、苦しみを、ひたすら聴いていこうとしています。

私はこの相談員の方々が無給のボランティアであり、匿名に徹し、年に何回かは深夜帯も担当するという厳しい誓約を守って電話を受け続けていることに、現在の荒んだ世の中であって、驚きと感謝の念を感じざるをえません。

しかしこの輪をもっと広げ強めて、悩んでいる方々の電話を一本でも多く聴いていけることを願っています。

ひとりで悩まず いつでも相談

電話相談

011-231-4343

聴覚障害者の方のファックス相談

011-219-3144

相談員1日研修(ワークショップ) 日時:8月9日(日) 場所:札幌市教育文化会館研修室
主催:「北海道いのちの電話」 参加:相談員51名

「死生観・人生観」

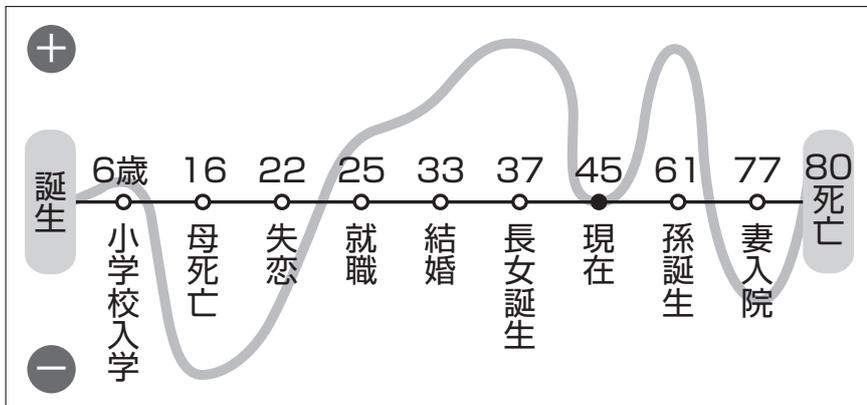
～誕生から死まで、人生をスキャンする～

関西学院大学人間福祉学部准教授
講師 藤井 美和 先生

スキャンとは細かく、詳しく順を追って調べること。



私のライフサイクル(自分の人生を振り返りながらワークシートに書き込む)



一例として左図のように紙に左から右へ1本の横線を引きます。次にそれに沿って、これまで経験したこと、これから起こるであろうことを書きます。誕生、失恋、結婚、出産、病気、死別、自身の死…。それぞれに年齢を入れます。最後に感情の浮き沈みを曲線で表し、出来事をつなぎます。横線の上がプラス、下がマイナスの感情です。

ワークシートに書き込んだ時の気持ちを思い出しながら書いて下さい。

- ① あなたは、なぜワークシートの死亡年齢・死亡原因を選びましたか？
死亡年齢(歳) 理由()
- ② 死亡年齢・原因を決める時どんな気持ちになりましたか？
- ③ あなたは、今、人生のどのあたりにいると思いますか？
(例:半分、7割終わっている など)
- ④ それはあなたにとって、どんな時期ですか？
(例:これから夢を実現する時期、人生のまとめの時期 など)
- ⑤ あなたはこれまでの人生をどのように評価しますか？
- ⑥ あなたはこれからの人生をどう考えていますか？



講義を聞き、ワークシートに書き込んでみて

ワークシートを見ながら、誕生と死のラインがどこにあったのか、またその理由は何なのか、人生の中で一番気持ちの高かった部分、低かった部分は何が起こった時なのか、そこをどのようにくぐりぬけてきたのかについて、振り返りを行った。

- 辛いこと、哀しいことにも意味があり、どう受け止めて乗り越えるか、時間の経過を待ちながら漂っていくのか、どんな死を穏やかに迎えられるのか、自分の生きざまを改めて考えさせられた。(Pさん)
- もやもやしている自分の“今を知る”ことが出来た。今起きているいろいろなことから逃げたい気持ちや立ち向かいたい気持ちに目を向けず、ただがむしゃらに毎日を生きていることに気付いた。(Lさん)
- 「助けを求めてくる人の苦しさ、しんどさを知る」という言葉が印象に残った。電話を受ける時に、いつも決して忘れてはならないことだと改めて思った。(Zさん)
- 自分の来し方を思い出し行く末を考え、具体的な死もイメージしてライフサイクルに表現したことによって、山あり谷あり、喜びも悲しみもある人生だったと再認識した。(Xさん)
- 「死・生」について考えることのできた1日だった。「恐ろしい、イヤだ」という暗いイメージを持たず自然に受け止めていく、受け入れていく自分でありたいと思った。(Qさん)
- 日頃考えないようにしている死について、今日は考えた。死とは、生きることを考えることでもあると感じた。(Vさん)

こんな本はいかが？

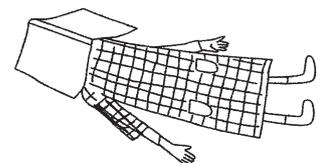
〈スピリチュアル〉はなぜ流行るのか

朝日新聞ジャーナリスト学校主任研究員
磯村健太郎(著)

〈スピリチュアル〉という言葉から何を連想するだろうか。ある人はテレビのバラエティー番組「オーラの泉」を思い浮かべるかもしれない。またある人はホスピスにおける「スピリチュアル・ケア」のことを考えるかもしれない。世界保健機関(WHO)は1999年、「世界保健機関憲章」の改正案において健康の定義の中に「霊的(スピリチュアル)」という概念を加えることを提案したが、当然のことながら、それぞれの国の文化や伝統によって「霊的(スピリチュアル)な健康」のあり方は違っているので、定義を曖昧にしたままである。

著者は、そのように広い意味内容をもつ〈スピリチュアル〉をキーワードに時代を切り取ろうとこころみている。《千の風になって》《江原啓之》《ロハス》などはどうして“現象”にまでなったのだろうか。

割れやすいカットグラスは、プチプチのついたビニール、発泡スチロール、段ボール箱、と幾重にも梱包されている。一方〈私〉は親戚縁者、ご近所、ご町内といった梱包材を生活形態の変化から失い、また“わずらわしい、うっとうしい”という理由で捨て去ってきた。結果、むき出しになった〈私〉は自分自身と否応なく向き合うことになった。そんな中で〈私〉は「見守られる。手をさしのべられる。〈私〉という存在をだれかに、あるいはなにかに受け入れてもらう感覚」を必要としているのではないか。「〈スピリチュアル〉は私たちが充足した『生』を取りもどし、他者とともに良く生きるすべを考えるキーワードになるだろう」と著者は結んでいる。(PHP新書 756円)



「北海道いのちの電話」第33期相談員募集

- 申込期間** 2010年3月1日～4月30日(当日消印有効)
- 定員** 40名程度
- 受講資格** 年齢20歳以上 相談員として深夜帯も担当可能な方
- 申込方法** 申込用紙と必要書類を同封のうえ、事務局宛郵送して下さい。
お問い合わせは事務局(011-251-6464)まで。
申込用紙はHPからダウンロードできます。
(URL <http://www.inochi-tel.com/>)



第4回自殺予防フォーラムから

第4回北海道自殺予防フォーラムが、北海道・札幌市主催で、2009年9月6日(日)、札幌市教育文化会館小ホールで開催されました。この基調講演では藤原庸一氏(NPO法人白浜レスキューネットワーク代表1972年生・和歌山県白浜町出身・牧師)が「現場から見る自殺予防対策」と題して話されました。後半のパネルディスカッションでは「こころの危機を経験して 今私にできること」というテーマで3人の当事者から貴重な体験が語られました。(今回のパネルディスカッションの内容はパネリストの個人情報保護のため掲載できません)

基調講演の内容

自殺の名所と言われる三段壁で、組織として30年間に約1000人を保護してきました。しかし今年3月からは急激に人数が増えています。保護するにも公的機関は平等が原則なので、ひとつひとつの機関は機能しているのに繋がっていません。一般市民はそういう制約がないから、私たちが間に入って繋げていかなければなりません。行政にも私たちの力が必要です。また自殺の原因の一つとして、生育環境が大切と考え、地域の子供たちが自然に接する機会を増やす活動や勉強会をおこなっています。自宅の隣にあるアパートでは現在16人が共同生活し、趣旨に賛同した地元の人や、自殺を思い止まり、自立後協力者になった人々とともに支援活動をしています。

このような活動が地域の人達に受け止めてもらえるようになってきており、それが地域づくりに繋がってきていると思います。

道の地域自殺対策緊急強化事業

「北海道地域自殺対策緊急強化基金」を財源として、地域における自殺対策の強化を図るための事業が始まっています。平成21年度の事業内容は次の通りです。

- 地域における各種相談業務に従事している相談員(地域相談員)に対する相談対応手引きの作成。
- 手引きに係る研修会の開催(道内6箇所) 渡島、石狩、上川、網走、十勝、釧路
内容(基調講演、シンポジウム、分科会)
- 休日、夜間における電話相談の実施
休日、夜間における「こころの健康相談(電話相談)」の実施(委託事業)
平日9:00～21:00(時間変更) 休日10:00～16:00 電話0570-064-556(全国共通)
- 9月の自殺予防週間(9月10日から1週間)を中心に、テレビ、ラジオ等の媒体を活用した普及啓発

後援会から「北海道いのちの電話」は皆さまに支えられています

チャリティーゴルフに 142 人



「いのちの電話」事業への支援をよびかけて、チャリティーゴルフ大会が、8月6日(木) 廣済堂 CC で開かれました。

後援会が法人の事業支援委員会とともに実行委員会を今春から立ち上げ、個人、団体、企業に参加勧誘と協賛を積極的に進めてきました。

その結果参加者 142 人、賞品などを提供していただいた協賛者(団体 30 個人 1) がともに目標を大きく上回りました。(協賛者名は 7 ページに)

今回は指定したホールでワンオンしなければ 500 円をチャリティー寄付していただく新趣向を盛り込んだ結果、法人への寄付金総額は 27 万 7 千円と昨年を大きくクリアすることができました。皆さんの温かいご協力に改めて御礼申し上げます。

秋の夜のチャリティーコンサート

ゴルフ大会と並ぶ資金協力の重要なイベント「チャリティーコンサート」は、今年も昨年同様 2 回公演で企画しました。

その第 1 回「大平まゆみ&高垣幸子と箏〈道の会〉ジョイントコンサート」は 10 月 28 日(水)夜、札幌市北区のサンプラザホールで開かれました。

定員 500 人の会場は、「いのちの電話」活動に協力しようという方々で満員の盛況。大平さんと札幌有志によるドボルザーク作曲の「アメリカ」、高垣さんと〈道の会〉12 人による片山暲山作曲「こきりこの風」などの演奏を楽しみました。

第 2 回公演は 12 月 9 日(水)午後 6 時 30 分から同じホールで開きます。ドイツなどヨーロッパを舞台に活躍しているピアニストの原田英代さんがはるばる駆けつけて、メンデルスゾーンやシューベルトの名曲の抒情豊かな演奏を披露してください。是非ご参加ください。

なお、2 公演共通のプログラムには 38 の団体、企業から協賛広告をいただきました。(お名前は 7 ページに)

有難うございました。

相談事業の説明会が開かれ好反応が続いています

後援会は今年度の事業計画の柱のひとつとして「企業や各種団体に『いのちの電話』相談事業の重要性を訴え、活動への理解、協力を呼びかける説明会を積極的に行う」としています。

この方針に基づき桂信雄会長ら理事、幹事が春以来企業、団体への訪問、説明を開始、これまでに手稲ロータリークラブ、北海道神社庁、札幌ロータリークラブ、大太平洋建業(株)などで、自殺者が多くなっている現状、「いのちの電話」事業を支える財政事情の厳しさなどを話して協力を求めました。

その結果、会員入会や寄付が相次いでいます。



ご支援ありがとうございます

2009年7月1日～2009年10月31日

上記の期間内に次の方々からご支援をいただきました。お寄せいただいたご厚志は、24時間眠らぬダイヤル活動の貴重な資金として使わせていただきます。なお、銀行、郵便局からの振込の場合、入金まで若干日数を要しておりますので、ご了承下さい。また、期間中のご入金回数等は略させていただきます。

※寄付をされた場合、税制上の優遇措置があります。

銀行振込みご利用の場合は下記口座番号宛、お願いいたします
北洋銀行大通支店 普通預金 301-0238134 北海道いのちの電話
北海道銀行本店 普通預金 101-0604497 北海道いのちの電話
札幌信用金庫本店 普通預金 01-6116682 北海道いのちの電話
お問い合わせ・ご連絡などは下記へお願いいたします
〒060-8693

札幌中央郵便局私書箱 107 北海道いのちの電話事務局
事務局電話 011-251-6464 (後援会専用 011-612-3965)
FAX 011-221-9095

郵便振替口座番号 02770-9-2444
北海道いのちの電話

社会福祉法人 北海道いのちの電話
理事長 南 榎子
北海道いのちの電話後援会
会長 桂 信雄

団体会員 (会費・寄付金、敬称略、順不同)

医療法人 中江病院	日本キリスト教会 森林公園教会	札幌市財政局 役職者会
医療法人社団 ウェルネス望洋台医院	日本キリスト教団 函館教会	札幌市白石区役所 役職者会
医療法人社団 小野眼科医院	千歳栄光学園 千歳第2幼稚園	札幌市中央区役所 役職者会 中友会
医療法人社団 健心会 桑園病院	北海道大学落語研究会 OB・OG 会	札幌市手稲区役所 役職者会
医療法人社団 三浦メンタルクリニック	札幌市立高等学校 教職員組合	札幌市保健福祉局 役職者会
医療法人社団 倭会 ミネルバ病院	(株)アラコーポレーション	札幌市やよい会
医療法人社団 産婦人科 吉尾医院	岩田地崎建設(株)	札幌市労働組合連合会
いしかわ診療神経クリニック	江別製粉(株)	財団法人 札幌市水道サービス協会 (旧南区福祉部職員会一同)
市立札幌病院 職員労働組合	(株)共立メンテナンス札幌支店	財団法人 北海道 YMCA
治療院 スマイル	(株)廣濟堂札幌カントリー倶楽部	財団法人 札幌市職員福利厚生会 有志一同
カトリック 北26条教会	交洋不動産(株)	社団法人 北海道勤労者安全衛生センター
カトリック 月寒教会 バザー委員会	(株)札幌ドーム	社団法人 ふる里公苑
カトリック 手稲教会	(株)敷島屋	さっぽろ慈啓会夏祭り実行委員会
札幌護国神社	(株)セイコーマート	児童養護施設柏葉荘
聖心会 札幌修道院	(株)タケカワ総合コンサルタント	北海道若年認知症の人と家族の会
聖ベネディクト女子修道院	泊水産(株)	北海道情報通信福祉協議会
徳生寺	(株)北雄産業	北海道いのちの電話後援会 チャリティーゴルフ大会 実行委員会
北海道神社庁	(株)丸真 真木呉服店	南円山地区民生委員児童委員協議会
日蓮宗 妙典寺	札幌市環境局 環境清和会	札幌もいわライオンズクラブ
日本キリスト教会 札幌発寒教会	札幌市北区役所部課長会	

個人会員 (会費・寄付金、敬称略、順不同)

佐々木敬子	池田 達夫	入谷 信昭	大須賀 夏	尾崎美枝子	狩野 廣	熊谷 菊枝
芥川 公子	池田真喜子	岩井 雄三	大竹 実	柿本 伸之	川上 貞子	黒川 輝世
浅川 三男	伊坂 重孝	上田 稔	太田 千代	角田今日子	川越 章善	黒島 芳江
東 博行	石井 嘉	上野 輝佳	大友美奈子	葛西さとみ	川守田京子	越野 宣之
荒井 博光	石川 昭次	氏家 淳子	岡崎 照子	葛西美保子	川守田節子	小島 育子
荒木 哲彦	石原 昭一	氏原 英良	岡島 静子	片平美智子	神埜 文典	小林 修
荒 ひろみ	石見 和子	氏原富二子	岡田恵美子	勝野 恒巳	菊池 園子	小谷野健一
有川 良	石見 誠嗣	遠藤 司郎	尾形 照夫	加藤 峰	菊地千賀子	是永 道子
有馬 宣子	泉 真知子	遠藤 雅夫	岡田 温子	金森 美子	木太 陽子	斎藤 雪子
安藤 育子	伊藤 孝子	大川八千代	岡林 律子	金子 千恵	工藤 公子	斎藤 テエ
飯室 美子	伊藤千秋・孝子	大澤 幹夫	岡本 弘	金子 禎子	国鳥やよい	斎藤 智子
池田 昭二	いのちの電話1.2期生有志	大須賀豊稚	小川 光子	狩野 紀子	國本 京子	酒井恵津子

酒井 尚樹	信丸 義弘	田辺 等	中川 洋子	平泉 勉	松原 睦哉	山田 岩夫
坂上 崇男	末次 邦雄	田辺美恵子	中小田 潤	平賀 岑吾	松本 篤二	山田 秀夫
榊 吉美	菅井 忠志	谷 紘子	永田 幸子	平原 紀子	間宮 和代	大和谷正人・房枝
阪口 晶美	菅田 洋子	多筈佳枝子	永田 京子	フェイストフェイス水障 野	三浦 則子	山中 貴義
坂本 勝彦	杉原 律子	民谷 裕子	中田千賀子	吹矢千代子	三浦 光世	山ノ内廣子
坂元 由美	杉本 佳子	千田 忍	中田 春子	福田 和子	水谷 敦夫	山野 幸子
佐々木春代	杉山さち子	千葉 勇	中野 正道	藤井 美和	水野さつき	湯浅 志真
佐々木光明	鈴木 重安	塚崎 和義	中野 淑文	藤井 玲子	光崎 正子	横山 佳子
佐々木僚子	鈴木 新一	津坂 俊朗	中原 准一	藤岡久美子	南 楨子	横山 穰
佐藤 正晴	鈴木 幸子	辻 敦子	中平 桂子	藤村 武	南屋敷ケイ子	吉江 昌彦
佐藤 巖	須田 明夫	続木紀久雄	成田セツ子	藤原 恭子	峯後 重子	吉田すみゑ
佐藤忠行・和子	関戸 良子	出口寿美枝	難波眞木二	藤原 咲子	宮崎 京子	吉田 桃代
佐藤 教子	瀬戸 武	土肥 賢子	野々村信子	星 昇	宮崎 澄子	吉田 洋子
寒川ナミエ	相馬 久子	東海林義孝	橋本 淳孝	細川 忍子	宮本俊文子	吉峰輝民・洋子
沢田 慶子	退町賢治・恵美子	土岐 郁子	橋本 イソ	細田 俊紀	宮本眞希守	吉山 八郎
澤田 道子	大 公一郎	時田 廣	幡江美智子	堀尾カツ子	三好 尚子	米田 榮子
澤村 重一	高田 浩子	富崎季実子	畠山 征子	本田 享子	向井 隆	若狭 等
澤谷 琴美	高原久美子	富永 嘉昭	畠山 悠子	前田 典子	村田悠紀子	渡辺 ちせ
塩田 越波	高谷 昌子	富原 薫	八反田元子	牧野 貞子	森 朗	渡部 輝子
品川久美子	田口 凉子	内藤 信子	馬場勲彦・美代子	増井 啓子	森 公代	渡辺 信英
柴田 牧子	立石 彰	永井 和夫	濱崎 裕	増田 悦子	森林美恵子	匿名：5
島田 和子	蓼沼 豊	長井 茂子	林 ミサオ	松岡 昭三	保谷 忠男	
清水 京子	田中 博之	永井 信	林 律子	松尾みつ子	八幡 敬一	
下田昭三・清子	田中 文宏	長江由美子	久末 満三	松原シオリ	山田 郁子	

'09 チャリティーゴルフに協賛いただいた会社、団体

(株)アグレ	(株)興陽技建	(株)田中組	北海道旅客鉄道(株)
(株)石山組	北海道料理古艦帆来(コロボックル)	(株)帝国設計事務所	北海道ロードメンテナンス(株)
伊藤組土建(株)	札幌サンプラザ	パブリックコンサルタント(株)	丸彦渡辺建設(株)
岩倉建設(株)	札幌商工会議所	一二三北路(株)	(株)ミチウエ
岩田地崎建設(株)	札幌第一興産(株)	広島建設(株)	宮村光次
(株)エルフォート	札幌中小建設業協会	北土建設(株)	横山食品(株)
喜久一本店	(株)札幌都市開発公社	北海道エネルギー(株)	匿名企業1社
廣濟堂札幌カントリー倶楽部	大善維持建設(株)	北海道コカ・コーラボトリング(株)	

'09 チャリティーコンサートのプログラム広告をいただいた会社、団体

北海道労働金庫	岩倉建設(株)	北土建設(株)	札幌南福祉会(宏楽苑)
(株)開発工営社	北海道エネルギー(株)	北海道ジェイ・アール都市開発(株)	大和ハウス工業(株)札幌支店
学校法人北星学園	学校法人酪農学園	パブリックコンサルタント(株)	地崎商事(株)
(株)アミノアップ化学	(株)石山組	財団法人札幌市環境事業公社	旭イノボックス(株)
(株)札幌ドーム	コンチネンタル貿易(株)	社会福祉法人エムアール会	北海道観光事業(株)
(株)ドーコン	札幌市中小企業共済センター	大友恵愛会	古艦帆来ほまれ物産(株)
北海商科大学	札幌第一興産(株)	(株)アグレ	プリプレス・センター
石屋製菓(株)	札幌慈啓会	葛西事務所	札幌大学
ジェイ・アール北海道バス(株)	札幌中法人会	(株)帝国設計	
溪仁会	道路工業(株)	札幌社会福祉専門学校	

【今回チャリティーボックスから集金させていただいた会社、団体】

(株)アクト調剤 メトロ調剤薬局、池田歯科クリニック、北海道いのちの電話、鮭 かめ八、北海道いのちの電話後援会 事務局(いきいき福祉)、パークホテル、よし野、ラッキー飯店

- ・記載漏れの方がいらっしゃるかもしれませんので、お気付きの際はご連絡下さい。
- ・銀行振込みで御寄付頂いた方のお名前はカタカナのままとさせていただきます。又、個人情報保護のため、住所が確認できず、領収書をお送りできません。

「政権が変わったということ」

北星学園大学・「北海道いのちの電話」研修委員：リーダー研担当
今川 民雄

民主党による新政権が誕生しました。総選挙の結果によって単独過半数を一党が占める連立が誕生するという形での政権交代は、戦後日本で初めてのことです。政権が交代したことで、果たしてどの程度まで政策が変わるのか、あるいは変わらない（変えられない）のか。そして少なくとも、政策の変容にはどのくらい時間がかかるものなのか。日本という国のシステムの中で、初めて試してみることができるという意味では画期的な「実験」に、新政権は取り組み始めていることとなります。私の気分としては、堪忍袋の緒の長さは、できるだけ長く、切れにくくしておきたいものです。「いのちの電話」に関連することとして、新政権あるいは新(?)厚生労働省が、今後自殺予防についてどのような対策を実施してゆくのかわかりませんが、まだ見えてきません。これまでの施策は、自殺予防に対して十分な成果を上げてきたとはいえない状況です。新政権が有効な政策を打ち出せるかどうか、これは単に厚生労働省だけの問題ではないでしょう。年間3万人以上の

自殺者を生み出し続ける社会システムのあり方にメスを入れることができるかどうか、問われているように思えます。



事務局日誌 (2009年)

- 7月 7日(火) 32期生養成講座開講式
- 18日(土) 相談員総会
- 28日(火) 広報106号発行
- 8月 8日(土) 30周年記念市民公開講座
- 9日(日) 一日研修
- 24日(月) 運営会議
- 9月 10日(木) 後援会理事会
フリーダイヤル
- 12日(土) 32期生養成講座
～13日 一泊研修
- 17日(木) 全国事務局長会議(松島)
- 10月 3日(土) 研修委員会
- 8日(木) 全国研修担当者セミナー
～9日
- 14日(水) 法人監査
- 17日(土) 法人理事会
評議員会
- 28日(水) 30周年記念チャリティー
コンサート

編集後記

年間の自殺者が3万人を超える状況が10年も続いていることに歯止めをかけようと、政権交代後の政府が新たな対策を強化しようとしている。自殺者は中高年の男性が多く、その原因は仕事、健康、介護、人間関係などで、生きる価値を見い出せないまま希望を失ってしまうのである。東京五輪の体操個人競技で金メダルの故遠藤幸一選手は小学生の頃、家庭の事情で養護施設に預けられたが、彼の体操の素質を見つけた中学の先生が、高校進学を勧め学費の援助をしてくれた結果、体操を続けることが出来たことに感謝して、大学・社会人を通して後進の指導を行い、恩返しをすることが自らの夢であったと語っていた。夢を実現する人と、その人を支えることを夢とする人、こんな人間関係がどんどん生まれてほしいものだ。

あなたの夢は？目標は？ それは他人から見ての価値ではなく、本人が考え見つけるものである。「門をたたけ。そうすれば開けてもらえる」「求めよ。そうすれば与えられる。求めても与えられないのは、快樂のためにと考えているからだ」と言われるように、自己を通して他の人のためという倫理観が必要になる。全ての人が自分の夢と他の人の夢を自分のものとした時、互いに希望が確実に与えられる。偉人と言われた人たちは例外なく世の中のために夢を持っていた。今私たちは再生しよう、一人はみんなのために、みんなは一人のためにあることを実現するために。

「いのちの電話」の働きを多くの方にご支援いただきたい。(K)

社会福祉法人 北海道いのちの電話 (開局1979年1月)
事務局 〒060-8693 札幌中央郵便局私書箱107
TEL 011-251-6464 FAX 011-221-9095
URL <http://www.inochi-tel.com/>

本誌は共同募金の配布金により刊行

発行人 南 槇子
編集人 広報委員会